

同じ分野を学ぶ仲間達が協力。

「『皆で A を取ろう！』という空気感があります。」

留学先：University of California Berkeley（アメリカ）
公立高等学校卒業 K.Y.さん

2022 年 3 月 高校卒業

2022 年 8 月 University of California Berkeley 入学
（分子生物学専攻）
現在留学中



海外の大学に留学しようと思ったきっかけは？

次世代リーダー育成道場※という東京都教育委員会が実施しているプログラムに応募して、ミシガン州の高校に留学しました。そこでの授業をきっかけに遺伝子学に興味を持ち、さらに発展的に学びたいと思って相談した方から、海外の大学という道があることをお聞きしました。現実的に考え始めたのは 2 年生の夏頃です。

カリフォルニア大学バークレー校に決めた理由

最初にアメリカの中で学びたい専攻がある大学を探し、そこから興味のある研究をしているところや研究室が充実している大学をリスト化していきました。

学費が高いため、奨学金も探しました。応募した柳井正財団海外奨学金の公募制学校推薦海外大学奨学金（予約型）には、支給対象となる大学のリストがあります。自分のリストと考え合わせて、最終的に 23 校に応募しました。

アメリカでは、成績だけではなく、エッセイや課外活動などを含めて総合的に判断されるため、結果が予想しづらい部分があります。「自分が大学に合っているかどうかは大学が判断する」と言われるほどな

ので、そのつもりで幅広く応募しました。

何校か受かった中で、教授の数や研究室が充実していることが決め手となり、今の大学を選びました。大規模校のためサポートがあまりないことが気になりましたが、先輩から「自分から助けを求めれば、ちゃんとサポートしてくれる」と聞いて安心できました。

学んでいる専攻は？

分子生物学を学んでいます。生物について、細胞や遺伝子などから研究していく学問です。

高校では同じ目標の人はいませんでしたが、ここには大勢います。大学院生が最新の研究を紹介したり、実際に研究している教授がパネリストとして話をしてくれたり、仲間と一緒に論文を読んだり、知らなかったことを毎日学べます。

2020年にノーベル賞を取られた教授の授業が来学期必修になっているので、楽しみにしています。

大学の特徴は？

バークレー校は学生数が多く、4万人以上もいるため、競争があるのが当たり前です。

例えば研究室が学部生の手伝いを募集すると、多数が応募して、結果1、2人しか採用されません。普段友達と授業を受けているときは皆仲が良いのですが、競争に勝っていけるように高みを目指す、という考え方をする人が多いので、そこは皆、頑張り屋さんだと思います。

図書館に行くと、放課後も土日でも大勢が勉強しているので、自然と自分も勉強するようになります。

授業は、700人くらいの規模の講義が週に2回ありますが、それ以外は40人前後で行うものも多く、研究室での活動を含め、十分双方向で学べます。

友達は作りやすいですか？

学生の競争心が強いと聞いていたので、自分も心配していたのですが、皆とても優しいです。「協力しあって、皆でAを取ろう！」という感じです。

「質問があり、授業後に先生に聞きに行きたいけれど別の授業で行けない」、というときは、友人が「私もよく分からなかったから聞いておいてあげる。分かったら教えるね」と言ってくれたりします。

また、努力家だと思ふことが多いです。課題をこなし、プロジェクトがあり、試験があり、研究室での研究にディベートも…と、まるで24時間動いているような子たちが多いです。

キャンパスには色々な分野の人がいて、学内や寮で友達になることもできます。

英語について

英語は、高校留学時代に相当鍛えられましたが、ライティングでいい点がとれなかったり、言いたいことが言えずに詰まってしまったり、ということは今でも時々あります。

それ以外は、あまり気にしないようにしています。英語のための留学ではなくて、学びたいことがあっての留学ですので。

これから海外の大学進学を検討する高校生へメッセージ

難しそうだから、と諦めないでほしいと思います。

私が海外の大学を受けようと思った時は、周りにノウハウをもっている人がいませんでした。推薦状を担当の数学の先生にお願いし、それを英語の先生に英訳してもらう…など、多くの人を巻き込みました。大変ではありますが、人をお願いしてやっていただくのも、将来必要となる大切な力だと思います。

私は、留学してすごく自分の世界が広がりました。海外に必ず行くべきということではありませんが、ぜひ今の高校生には海外の大学進学という選択肢があることを知っておいてもらいたいと思います。

※次世代リーダー育成道場 Web ページ

<https://www.ryu.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/>